

2024年度シラバス

ファッションクリエイター科 2年

授業科目	必・選の別	年間授業 時間数	単位数	担当教員	業界実務経験	ページ
服飾デザインⅡ	必修	90	3	安藤 大春 粕谷 悠	有	2
ニットデザインⅠ	必修	90	3	伊藤 里恵子	有	4
パソコンデザインワークⅡ	必修	90	3	安藤 大春	有	6
パターンメイキングⅡ	必修	180	6	見目 家津美	有	8
ドレーピングⅠ	必修	90	3	見目 家津美	有	10
CADⅠ	必修	90	3	粕谷 悠	有	12
ソーイングⅡ	必修	225	7.5	高橋 由美	有	14
素材Ⅱ	必修	45	1.5	島田 朋子	有	17
校外研修Ⅱ	必修	30	1	福原 葉瑠子	無	19
インターンシップⅠ	選択	30	1	福原 葉瑠子	無	21
卒業制作	必修	120	4	見目 家津美	有	23

科目名	服飾デザインⅡ	教員名	安藤 大春 ・ 粕谷 悠
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・共通のテーマや素材の中でのデザイン ・カリキュラムごとのプレゼン ・グループワークによる協調性を身につける ・産学連携の警備服コンテストで実践的なプレゼンを行う 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイナー、パタンナーという職業に興味を持つ ・様々な技法を用いたデザインの発想力、想像力を身につける ・デザイン～ブランディング～プレゼンを1人で完結できるようにする 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のブランドを作り、テーマ・コンセプトを設けて、それに沿って1年間デザインを考えていく ・PINTERESTなどでデザインソースを集め、それをアレンジしてデザインする発想力を身につける ・いろいろな生地を触って、生地からデザインを考える ・カリキュラム終了ごとにプレゼンを行う 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席日数、遅刻回数、授業態度 ・カリキュラムごとの課題提出 <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(MIDDLAデザイナー ・ MIDDLAパタンナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	YKKファスニングアワードデザイン	春休みの宿題ラフデザイン画を提出し、清書
2回	YKKファスニングアワードデザイン提出	デザイン画、平絵、コメントを記入したものを提出
3回	同一素材トレンチコートデザイン	同一素材を使ったトレンチコートのデザイン、プリント柄ルデザイン
4回	↓(マティス)	同一素材を使ったトレンチコートのデザイン完成
5回	ニットトップスデザイン	ニットトップスのデザイン・平絵(イラストレーター)
6回	↓	ニットトップスのデザイン・平絵完成(イラストレーター)
7回	ステンシルテキスタイル製作	PC授業で作成した柄をステンシルの型に起こす
8回	ピッグスキンデザイン	ピッグスキン作品ラフデザイン(グループワーク)
9回	↓	ピッグスキン作品ラフデザイン完成(グループワーク)
10回	卒業制作展作品デザイン	卒業制作展作品ラフデザイン(全体)・生地・付属決め
11回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン・平絵(1体目)提出
12回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン・平絵(2体目)提出
13回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン・平絵(3体目)提出
14回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン全体感の確認～清書
15回	↓	卒業制作展作品色付きデザイン(1体目)提出
16回	↓	卒業制作展作品色付きデザイン(2体目)提出
17回	↓	卒業制作展作品色付きデザイン(3体目)提出
18回	卒業制作展作品デザイン完成	卒業制作展作品デザイン完成～素材・付属見直し
19回	卒業制作展作品製作	卒業制作展作品製作作業(パターン・縫製以外)
20回	↓	↓
21回	↓	↓
22回	↓	↓全作品のトワル完成
23回	↓	↓卒業制作展作品の生地・付属・パターンチェック等
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	↓	↓
27回	↓	↓
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	卒業制作展作品完成	卒業制作展作品完成→ポートフォリオと合わせてプレゼン

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	ニットデザイン I	教員名	伊藤 里恵子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>ニットの基礎知識を習得し、概論及び知識を理解する。</p> <p>基礎技術を習得し、その応用でニット作品(布帛とのコーディネート作品)を製作する。</p>		
到達目標	<p>ニットの基礎知識を理解する。</p> <p>棒針、鉤針の基礎技術を習得する。</p> <p>簡単なパターンでオリジナル作品が作れるようにする。</p>		
授業の方法	<p>ニットの基礎知識の講義</p> <p>棒針、鉤針の講義、実習</p>		
成績評価の方法	<p>・提出物(授業内で制作した編み地や製品のクオリティー) 80%</p> <p>・授業姿勢、出欠席 20%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 実務概要(Millanniニットデザイナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ニット基礎講義／棒針基礎実習	ニットの用具、編成原理／棒針基礎実習
2回	↓	ニットの糸について、編み記号の理解／棒針編み基礎編み実習
3回	↓	ニットの編み地の種類について／棒針編み基礎編み実習
4回	↓	↓
5回	↓	↓
6回	↓	↓
7回	ニット基礎講義／かぎ針基礎	かぎ針の編成や編み地についての理解／かぎ針編み基礎実習
8回	↓	↓
9回	↓	↓
10回	↓	↓
11回	↓	かぎ針モチーフバリエーション作成
12回	夏休み課題説明／ プルオーバーデザイン相談	細かなデザイン相談、糸と編み地の選定
13回	プルオーバー製作開始	細かなデザイン相談、糸と編み地の選定
14回	↓	目数段数の計算、パターン作成
15回	↓	↓
16回	↓	↓
17回	↓	↓
18回	↓	↓
19回	↓	↓
20回	↓	↓
21回	↓	↓
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	プルオーバー完成	完成
27回	卒業制作、自由課題	↓
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	プルオーバープレゼン	プルオーバーの個人プレゼン

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	パソコンデザインワークⅡ	教員名	安藤 大春
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次のパソコンデザインワークで学んだイラストレーター・フォトショップの基礎の復習 ・服飾デザインで描いたデザイン画と平絵をイラストレーターで清書 ・服飾デザインでの作品プレゼンへ向けたプレゼンマップの作成 ・企業で必要とされるMDマップやプレゼンマップを作成 ・卒業制作展作品製作に向けたポートフォリオ作成 ・警備服のデザイン、プレゼン資料作り 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーターやフォトショップのツールを自由に扱えるレベルになる ・デザインや平絵を描くスピード感を身につける ・服以外のフライヤー、ポスター、パッケージなどの印刷物デザインもできるようになる ・企業に入って即戦力となれるようプレゼンマップやMDマップを作成できるようになる 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターによる講師デモンストレーションと解説 ・練習用テンプレートを使い、各自デザインワークを繰り返し行う ・1年間かけてデザインしたものを最終的に卒業制作展へ向けたポートフォリオにまとめる 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 70% ・出席 30% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の實務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 實務概要(ブランドデザイナー、イラストレーター)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	YKKファスニングアワード	YKKファスニングアワードへ向けたテーマとデザイン画(ラフ～イラレ)
2回	YKKファスニングアワード/警備服説明会	YKKファスニングアワードへ向けたデザイン画と平絵(イラレ) ～警備会社説明会
3回	同一素材カリキュラムデザイン	服飾デザインで描いたラフ画を元にイラレで平絵と柄作成
4回	警備服コンテストデザイン	警備服コンテストへ向けたテーマ決めと素材集め、ラフデザイン
5回	↓	警備服のデザイン画と平絵(イラストレーター)* 中間レポートbyAIK
6回	↓	警備服コンテストへ向けたプレゼン資料作り(イラストレーター)
7回	↓	警備服コンテスト資料完成(PDF)～プレゼン練習
8回	警備服コンテストプレゼン大会	警備服コンテストプレゼン大会
9回	卒業制作展作品テーマ・デザイン	卒業制作展作品のテーマ決め、ロゴデザイン
10回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン1体目完成(イラストレーター)
11回	ピッグスキンデザインをイラレ清書	ピッグスキンデザインのデザイン画を清書(イラストレーター)
12回	卒業制作展作品ラフデザイン	卒業制作展作品ラフデザイン2体目(イラストレーター)
13回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン2体目完成(イラストレーター)
14回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン3体目(イラストレーター)
15回	↓	卒業制作展作品ラフデザイン3体目完成(イラストレーター)
16回	卒業制作展作品デザイン清書	卒業制作展作品デザイン清書(イラストレーター)
17回	↓	↓
18回	卒業制作展作品デザイン平絵	卒業制作展作品全アイテム平絵(イラストレーター)
19回	↓	↓
20回	卒業制作展ポスターコンテスト	卒業制作展のハガキ・ポスター・パンフレットの表紙のデザインコンテスト
21回	↓	↓
22回	卒業制作展作品ポートフォリオ作成	各自ブランドのロゴデザイン・表紙・テーマ・コンセプト(P0～3)
23回	↓	各自ブランドのターゲット・平絵MDマップ(P4～6)
24回	↓	デザイン画① 平絵、デザイン説明、素材説明、付属説明(P7～8)
25回	↓	デザイン画② 平絵、デザイン説明、素材説明、付属説明(P9～10)
26回	↓	デザイン画③ 平絵、デザイン説明、素材説明、付属説明(P11～12)
27回	↓	↓
28回	↓	↓
29回	卒業制作展作品ポートフォリオプレゼン	卒業制作展作品ポートフォリオをプロジェクターを使ってプレゼン
30回	卒業制作展作品プレゼンフィードバック	卒業制作展作品ポートフォリオプレゼンのフィードバック

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	パターンメイキングⅡ	教員名	見目 家津美
授業時数・単位	180 時間 6 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>・1年次で習得した知識を確認しながら、各プロジェクトのデザインのパターン作成をする。</p> <p>・平面と立体とを関連付けて作業ができるようにする。</p> <p>・生地 の性質を把握し縫製を考えて、服作りに必要な工業パターンを正確に作る。</p> <p>・CADとの連動により、工業パターン展開や縫製仕様書作成など効率よく行えるようにする。</p>		
到達目標	<p>・デザイン画をきちんと読み取り、出来上がりを想像してパターンを作成する。</p> <p>・正確にトワル組立てをしてデザイン画通りに仕上がっているか確認し、修正できるようにする。</p> <p>・縫製の仕様を考え必要なパーツを把握して、正確な工業パターンを作成できるようにする。</p>		
授業の方法	<p>・身頃の展開方法を再確認する。</p> <p>・衿の作図や袖の作図及び展開方法を確認する。</p> <p>・オリジナルデザインを効率よく進めていけるようにする。</p> <p>・各自、スケジュール管理を徹底させる。</p>		
成績評価の方法	<p>①出席 10%</p> <p>②パターンへの意欲、努力、完成度 40%</p> <p>③トワルの完成度 30%</p> <p>④作品のクオリティ・期限 20%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 無 実務概要(アパレル企業でのパタンナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ジャケット	ジャケット作図（身頃）
2回	↓	↓
3回	↓	ジャケット作図（衿・袖）
4回	トレンチコート	コート作図（身頃）
5回	↓	コート作図（衿・袖）
6回	同素材トレンチコート	コート作図
7回	↓	↓
8回	↓	トワフル組立て
9回	↓	修正・工業パターン
10回	ピッグスキン	グループオリジナルデザイン作図
11回	↓	↓
12回	↓	修正・工業パターン
13回	卒業作品制作	各自オリジナルデザイン作図・両身トワフル縫い
14回	↓	↓
15回	↓	↓
16回	↓	↓
17回	↓	↓
18回	↓	↓
19回	↓	↓
20回	↓	修正・工業パターン
21回	↓	↓
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	↓	↓
27回	↓	卒業作品縫製（ソーイングと連携）
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	↓	↓

1日6時間 × 30回 = 180時間

科目名	ドレーピング I	教員名	見目 家津美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生地の方眼地、ヨコ地を把握して、地の目の大切さを確認する。 ・身体の凹凸を理解して原型が作られる工程を学ぶ。 ・きちんと正確に美しくピン打ちが出来るようにする。 ・平面を理解して身体のゆるみや運動量を考えながら作りあげていくことができるようにする。 ・フォルムを作る面白さを深める。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレーピングの基本技術を習得する。(地の目・ピン打ち・組立てとトレース) ・フォルムへのこだわりや手で探る意識などドレーピングの感覚を養う。 ・美しいフォルムを目指して最後まで完成させる。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地の目の大切さを理解する。 ・平面作図を理解した上でフォルムを作っていく。 ・美しく仕上げるように心がける。 ・課題は講師の最終確認とし、授業時間内の提出とする。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ①出席 10% ②ドレーピングへの意欲、努力 40% ③トワルの完成度 30% ④作品の提出 20% <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(アパレル企業でのパタンナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ドレス原型ドレーピング準備	ボディーにB・W・Hのテープ入れ シーチングの地直し
2回	身頃原型	ピンの打ち方 地の目の見方 各パーツの作り方
3回	スカート原型	↓
4回	ブラウス	前身頃 後身頃
5回	↓	衿
6回	↓	身頃・衿トレース
7回	↓	袖作成
8回	↓	完成トワル組立て
9回	フレアスカート	前スカート フレアの面の作り方
10回	↓	後スカート フレアの面の作り方 ウエストベルト
11回	ピッグスキン	トワル組立て(パターン授業で作図したアイテム)
12回	↓	↓
13回	衿	衿のバリエーションのドレーピング
14回	↓	↓
15回	卒業作品	各自オリジナルデザイン
16回	↓	↓
17回	↓	↓
18回	↓	↓
19回	↓	↓
20回	↓	↓
21回	↓	↓
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	↓
25回	↓	↓
26回	↓	↓
27回	↓	↓
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	↓	↓

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	C A D I	教員名	粕谷 悠
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>・アパレルCADソフト(東レクレアコンポ)の基本操作をマスターし、アパレルメーカー等で技術職の即戦力として活用できる力を身に付ける。</p> <p>・CADのアパレル業界での役割と有効性を理解し、実践即した企画～パターン作成～縫製での流れで、効率の良いCADの活用法を理解する。</p> <p>・CAD技術習得と同時にパターンの理解も深める。</p> <p>・アパレル企業でも通用するパターン制作知識を習得する。</p>		
到達目標	<p>・基本的なCADの操作だけでなく、応用、実践的な活用術を身に付ける。</p> <p>・画面上での原型からのパターン展開の操作により、パターン作成の原理の理解を深める。</p> <p>・ショートカットキーの使用の習得により、効率的なCAD操作を身に付ける。</p> <p>・工業パターン化の詳細を身に付け、実践に活かすことのできるパターン作成を目指す。</p>		
授業の方法	<p>・CADの基本操作を習得し、平面作図からパターン展開を行う。</p> <p>・パターン作成をする上でCADの有効的な使い方を指導。</p> <p>・商品生産のプロセスに即したパターン作成、工業パターン化、マーキング、グレーディング、縫製仕様書作成等の一連の基本操作を指導。</p>		
成績評価の方法	<p>①基本操作の理解度 50% ②速さ・正確性 30% ③テスト 20%</p> <p>* 授業・課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0～10%</p> <p>* 出席率 加点+0～15%</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の實務経験	<p>(有)・無 實務概要(MIDDLAパタンナー)</p>		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	CADについて	基本知識・基本操作の練習
2回	基本操作応用	ダーツの移動・ライン修正・その他マニピレーション
3回	スカートマニピレーション	セミタイト～セミフレア～フレアスカート
4回	スカートの工業用	裏地・ベルト・ポケット作図
5回	↓	縫い代つけ・情報付け
6回	↓	用尺だし・パターン利用の製品図・仕様書
7回	パンツ原型作図	スカート原型からパンツ原型への展開
8回	オリジナルボトム作図	ニットアイテムに合わせたボトムパターン作図
9回	↓	パターン出力・トワル組み
10回	↓	トワルチェック・パターン修正
11回	↓	工業用パターン完成、仕様書の作成
12回	グレーディングについて	グレーディングの考え方、CADのグレーディングの操作
13回	復習	CADの操作、グレーディングについての復習
14回	卒展パターン	デザイン画をもとにMTG ボトムパターンの作図スタート
15回	↓	パターン出力・トワル組み
16回	中間トワルチェック	ボトム半身トワルチェック
17回	↓	最終調整 アシンメトリーのデザインは両身トワル作成
18回	最終トワルチェック	全体トワルチェックからの修正をパターンに反映
19回	↓	↓
20回	↓	工業用パターン作製、縫い代・情報付けのチェック
21回	↓	工業用パターン完成、仕様書の作成
22回	↓	パターン出力、パターンくりぬき
23回	↓	↓
24回	↓	予備日
25回	パターンのデータ化	トップスパターンの読み込み、トレース、工業用
26回	↓	工業用パターン完成、仕様書の作成
27回	↓	パターン出力、パターンくりぬき
28回	↓	↓
29回	卒業制作展作品仕様書	卒業制作展作品アイテムの仕様書作成・提出
30回	↓	↓

1日3時間 × 30回 = 90時間

科目名	ソーイングⅡ	教員名	高橋 由美
授業時数・単位	225 時間 7.5 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・縫製順序などの理解力の強化をする。 ・パターン、CADなどの授業と連携し、各自のイメージするデザインを形にする。 ・特殊素材にも積極的に触れ、素材やデザインごとの扱い方や縫製上の注意点を学び、幅広い縫製の技術を身につける。 ・2年間学んだ集大成として、卒業作品を製作する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作成したパターンを理解し、縫製できるようになる。 ・各自が提出期限までの日数を考慮した計画を立て、納期への意識を高める。 ・作品の仕上がりの良し悪しを判断出来るようにする。 ・生地によつての縫製の注意点を理解する。 ・縫製する際、どうすれば効率良く作業が出来るか常に意識出来るようにする。 		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・作成するものによつて、個々に指導する。 ・疑問点をすぐ解決できるようにする。 		
成績評価の方法	<p>◎テストはありませんが、提出物で評価します。</p> <p>①出席率:30%</p> <p>②提出物:50%</p> <p>③その他:20%(提出期限・授業態度等)</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(高級婦人服、舞台衣装などの縫製、お直しなど)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	青カレ祭用製作	学校のものなどを使用し、デザイン
2回	↓	作るものによっては型紙を作る
3回	↓	裁断 縫製
4回	↓	裁断 縫製
5回	↓	タグなど製品らしくするものを作る
6回	↓	納品書の書き方
7回	裏なしジャケット作成	パターンに縫い代つけて裁断 ※青カレ祭提出
8回	↓	工程表を製作 裁断 芯貼り～縫製
9回	↓	↓縫製
10回	↓	↓縫製
11回	↓	↓縫製
12回	↓	↓仕上げ始末など
13回	ジャケット仕上げ	ジャケット提出
14回	同一素材 製作	粗裁ちしてステンシルする
15回	↓	↓ステンシル ※ジャケット提出期限
16回	↓	パターンに縫い代つけて裁断 (必要な人)
17回	↓	芯貼り 裁断
18回	↓	縫製
19回	↓	↓
20回	↓	↓
21回	↓	↓
22回	↓	↓
23回	↓	↓
24回	↓	仕上げ
25回	ビッグスキン製作開始	パターンチェック ※同一素材提出期限
26回	↓	グループごとに分担を決めたりする
27回	↓	縫製相談 裁断 縫製
28回	↓	縫製
29回	↓	↓
30回	↓	↓
31回	↓	↓
32回	↓	↓
33回	↓	↓
34回	↓	↓
35回	ビッグスキン	↓

36回	↓	↓
37回	↓	卒展製作物縫製相談
38回	↓	↓
39回	↓	縫製
40回	↓	卒展用始められる学生から開始
41回	↓	仕上げなど
42回	↓	ピッグスキン仕上げ(ショーの日程が不明なので期限確定できず)
43回	卒業製作物開始	パターンチェックしながら裁断
44回	↓	芯貼り 裁断
45回	↓	↓
46回	↓	縫製
47回	↓	↓
48回	↓	↓
49回	↓	↓
50回	↓	↓
51回	↓	↓
52回	↓	↓
53回	↓	↓
54回	↓	↓
55回	↓	↓
56回	↓	↓
57回	↓	縫製仕上げ
58回	↓	仕上げ
59回	↓	↓
60回	卒展製作提出期限	この日の製作物の仕上がり具合を成績に反映

1日6時間 × 15回 + 1日3時間 × 15回 + 1日3時間 × 30回 = 225時間

科目名	素材Ⅱ	教員名	島田 朋子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>◎1年次に学んだ生地加工の知識を応用して、新しい表現を習得する</p> <p>◎素材からデザインを考えていくために、更に深い知識を学ぶ</p> <p>◎1年次に学んだデジタルプリントの知識を応用し、表現方法を広げていく</p> <p>◎ターゲットに対してMD的視点を持って素材を選びデザインすることを学ぶ</p>		
到達目標	<p>◎素材加工の幅を広げて、作品のオリジナル性を高める</p> <p>◎素材の基礎知識を深める</p> <p>◎市場性を考えた商品企画を出来るようになる</p>		
授業の方法	<p>◎テキスタイルについての資料プリントの配布と説明</p> <p>◎生地加工でオリジナル素材を作る</p> <p>◎デジタルテキスタイルプリントのテクニックをパソコンを使って学ぶ</p> <p>◎市場調査をした中でターゲットを決めて企画を作る</p>		
成績評価の方法	<p>出席率、授業取り組み姿勢、作品完成度</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有 実務概要(テキスタイルデザイン、OEM企画、品質管理)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッション業界の流れ	ファッション業界の大きな流れと現状、テキスタイル業界の抱えている問題を学ぶ
2回	テキスタイル基礎知識の復習①	繊維について1年次の知識を復習し、今後の企画に繋げる
3回	テキスタイル基礎知識の復習②	繊維について1年次の知識を復習し、今後の企画に繋げる
4回	日本の産地と桐生産地について	日本国内の産地を知り、また桐生研修前にどのような産地かを学ぶ
5回	警備服コンペ素材説明作成	警備コンペに向けて、企画書用の素材説明を作る
6回	素材加工で作るオリジナル素材①	1年次に学んだ素材加工を使ってオリジナル素材を作る
7回	素材加工で作るオリジナル素材②	1年次に学んだ素材加工を使ってオリジナル素材を作る
8回	前期期末テスト	テキスタイルの基礎知識について期末テストを実施、解答しながら解説する
9回	卒業制作に向けて素材収集	卒業制作に向けて、日暮里で素材リサーチ、購入をする
10回	卒業制作に向けて素材企画	卒業制作に向けての素材を企画し、まとめていく
11回	品質について①	商品を企画販売する上で必須である品質について学ぶ
12回	品質について②	商品を企画販売する上で必須である品質について学ぶ
13回	卒業制作の為の生地加工①	卒業制作の為のオリジナル素材制作と展示用生地加工の制作
14回	卒業制作の為の生地加工②	卒業制作の為のオリジナル素材制作と展示用生地加工の制作
15回	期末テスト	テキスタイルの基礎知識と品質についての期末テストを実施、解答しながら解説する

1日3時間 × 15回 = 45時間

科目名	校外研修Ⅱ	教員名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>通常授業から離れ、様々な体験を積むことにより、教養の幅を広げ、感性を育むとともに、ファッション業界を目指す上で役立つ基礎的な素養を身につけます。</p>		
到達目標	<p>この研修を通じて、できるだけたくさん「自分にとっての新たな発見」を体感してください。 その発見から、興味・関心の幅を広げ、自己の成長に繋げることを目標とします。 具体的には、ファッション業界への更なる興味喚起、素材・テキスタイルに関する知識・技術の習得、西洋美術・日本美術への興味喚起・感性研鑽、デザインモチーフの考察、舞台演出の技法研究、演技・表現方法の観察などを目指します。</p>		
授業の方法	<p>参加体験型の取り組みとなります。 各自が積極的に参加し、自ら進んで多くの発見をしてください。 ①ファッション業界で活躍する方の講演 ②美術鑑賞・デザインモチーフ研究 ③繊維織物工場の見学・制作体験 ④芸術鑑賞(観劇)</p>		
成績評価の方法	<p>各自が自主的に多くを吸収することを求める授業ですので、出席を重視し、成績はA・B・Cではなく、P(合格)・F(不合格)で評価します。 P=出席率75%以上、F=出席率75%未満 ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>本人の取り組み方次第で、多くを発見し、自己の成長に繋げることができる授業科目です。 1年次の経験を基に、更に積極的に参加し、幅広い教養・感性等を習得してください。</p>		
教員の實務経験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 實務概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	①ファッション業界で活躍する方の講演	学生時代から現在の仕事までの体験談・仕事について・学生へのアドバイス（3時間）
2回	↓	振り返り（1.5時間）
3回	②美術鑑賞・デザインモチーフ鑑賞	西洋絵画鑑賞等に向けての解説（1.5時間）
4回	↓	美術館での西洋絵画鑑賞（3時間）
5回	↓	動物園でのデザインモチーフ研究または博物館での日本美術鑑賞（3時間）
6回	↓	振り返り（1.5時間）
7回	③繊維織物工場の見学・制作体験	制作体験の準備（3時間）
8回	↓	繊維織物工場の見学・制作体験（6時間）
9回	↓	振り返り（1.5時間）
10回	④芸術鑑賞（観劇）	観劇に向けての解説（1.5時間）
11回	↓	劇場での観劇（3時間）
12回	↓	振り返り（1.5時間）

科目名	インターンシップ I	教員名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>企業等で、実際の仕事現場での業務を体験する研修です。</p> <p>プロの指導の下、業務を体験することで、プロ意識を植え付け、職業についての理解を深めます。</p> <p>自分自身の職業適性を知る機会にもなり、将来の職業選択にも役立つ授業科目です。</p>		
到達目標	<p>企業等で与えられた仕事・課題を遂行し、職場において社会人としての基本的な行動ができること。</p> <p>そして、体験した業務に関する職業観を会得することを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>受け入れ先のルール・指示に従い、現場の業務を体験します。</p>		
成績評価の方法	<p>受け入れ先担当者からのフィードバック(書面または口頭による評価)、研修完了報告書等により、インターンシップを滞りなく完了したことを確認し、P(合格)・F(不合格)で評価します。</p> <p>P=インターンシップ完了、F=インターンシップ未完了(欠勤や業務不適應で完了と認められない場合)</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項	<p>インターンシップ実施時間合計28時間以上の研修を対象とします。</p> <p>また、複数のインターンシップに参加し、実施累計時間28時間以上となる場合も履修と認めます。</p>		
教員の实务経験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 实务概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	事前指導	インターンシップの注意事項、受け入れ先企業の基本情報をレクチャー（1時間）
2回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ
～	↓	↓
11回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ（インターンシップ時間合計 28時間以上）
12回	報告書作成	研修完了報告書の作成・提出（1時間）

科目名	卒業制作	教員名	見目 家津美
授業時数・単位	120 時間 4 単位	対象クラス	FC 科 2 年
授業テーマ・概要	<p>通常授業のパターンメイキングⅡ、ソーイングⅡと連携し、5時限目以降および通常授業の休講日を利用して制作作業を行います。卒業作品の完成度を高めるとともに、作業工程の期日管理を考慮して指導します。</p>		
到達目標	<p>完成度の高い卒業作品を2点以上完成させ、卒業・修了制作展のファッションショーに出品することを目標とします。</p>		
授業の方法	<p>ファッションショーに出品できるレベルの完成度の高い卒業作品を期日までに完成できるよう、一人ひとりにマンツーマンで制作指導を行います。</p>		
成績評価の方法	<p>ファッションショーに出品できるレベルの完成度の高い作品を期日までに完成させ、出品できたかどうかをP(合格)・F(不合格)で評価します。</p> <p>P=ファッションショーに出品、F=ファッションショーへの出品不可</p> <p>※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。</p>		
特記事項			
教員の実務経験	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 実務概要(アパレル企業でのパタンナー)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	卒業作品制作	卒業作品のパターン、縫製、小物制作を工程に合わせて指導（2時間）
～	↓	↓
60回	↓	↓

ファッションクリエイター科 授業科目一覧表									
分類	授業科目	必・選 の別	1年次		2年次		授業 種類	担当教員	業界 実務 経験
			年間授業 時間数	単位	年間授業 時間数	単位			
専門 科目	服飾デザインⅠ	必修	90	3			実習	安藤 大春 粕谷 悠	○
	服飾デザインⅡ	必修			90	3	実習	安藤 大春 粕谷 悠	○
	ニットデザインⅠ	必修			90	3	実習	伊藤 里恵子	○
	デザイン画	必修	90	3			実習	松本 和子	○
	パソコンデザインワークⅠ	必修	90	3			実習	安藤 大春	○
	パソコンデザインワークⅡ	必修			90	3	実習	安藤 大春	○
	パターンメイキングⅠ	必修	270	9			実習	平田 ます実	○
	パターンメイキングⅡ	必修			180	6	実習	見目 家津美	○
	ドレーピングⅠ	必修			90	3	実習	見目 家津美	○
	CADⅠ	必修			90	3	実習	粕谷 悠	○
	ソーイングⅠ	必修	180	6			実習	平田 ます実	○
	ソーイングⅡ	必修			225	7.5	実習	高橋 由美	○
専門 関連 科目	素材Ⅰ	必修	90	3			演習	島田 朋子	○
	素材Ⅱ	必修			45	1.5	演習	島田 朋子	○
	カラー	必修	45	1.5			演習	杉本 祐子	○
	ファッションビジネスセオリー	必修	45	1.5			講義	藤原 喜仁	○
一般 科目	校外研修Ⅰ	必修	30	1			実習	福原 葉瑠子	×
	校外研修Ⅱ	必修			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	インターンシップⅠ※	選択			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	修了制作	必修	60	2			実習	平田 ます実	○
	卒業制作	必修			120	4	実習	見目 家津美	○
	必修科目授業時間数		990	33	1050	35			
	選択科目授業時間数				30	1			
	卒業に必要な総授業時数		1700時間以上						
	全設置授業時数		2070時間						
	実務教員授業時数		1980時間						

※受講生の選抜を行う場合がある